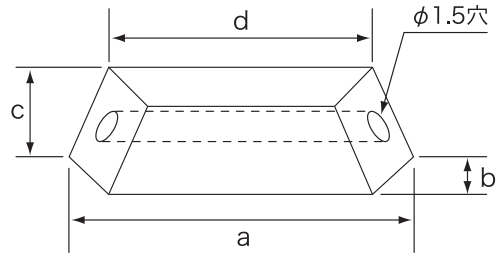


APACERAM®

## アパセラムSTSSスペーサー

● トライアル用意できます。 略称：人工骨・AB-13



| 品 名               | 気孔率 (%) | 定形寸法 (mm) |   |   |    | 包装   |
|-------------------|---------|-----------|---|---|----|------|
|                   |         | a         | b | c | d  |      |
| L4-254-RU-000-176 | 40      | 17        | 6 | 6 | 12 | 1 個入 |
| L4-254-RU-000-206 |         | 20        | 6 | 6 | 15 |      |
| L4-254-RU-000-208 |         | 20        | 8 | 8 | 15 |      |
| L4-254-RU-000-236 |         | 23        | 6 | 6 | 18 |      |
| L4-254-RU-000-246 |         | 24        | 6 | 6 | 19 |      |

## STSSスペーサー使用例

症例  
1



術前MRI

症例  
2



術後MRI



術後CT (C5)



術後単純X線写真



頭側から見た術中写真

PENTAX

製造販売業者

## HOYA Technosurgical 株式会社

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-4 YKBエンサインビル  
TEL 03-5369-1710 FAX 03-5369-1711

■札幌オフィス 〒060-0007 札幌市中央区北七条西13-9-1 TEL: 011-241-3473 FAX: 011-241-3472  
■仙台オフィス 〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-7-1 TEL: 022-371-6944 FAX: 022-371-8924  
■名古屋オフィス 〒461-0001 名古屋市東区泉1-21-27 TEL: 052-955-8572 FAX: 052-955-8573  
■大阪オフィス 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 TEL: 06-6263-1679 FAX: 06-6263-1686  
■福岡オフィス 〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-8 TEL: 092-281-6860 FAX: 092-281-6869

URL [www.hoyatechnosurgical.co.jp](http://www.hoyatechnosurgical.co.jp)

※仕様、形状は一部変更することもあります。  
※掲載の写真・形状図は実物大ではありません。

ご注文先

## 益子工場

〒321-4292 栃木県芳賀郡益子町大字塙858  
TEL 0285-72-6253 FAX 0285-72-6259

アパセラム-L4 医療機器承認番号：22200BZX00811000

販売店

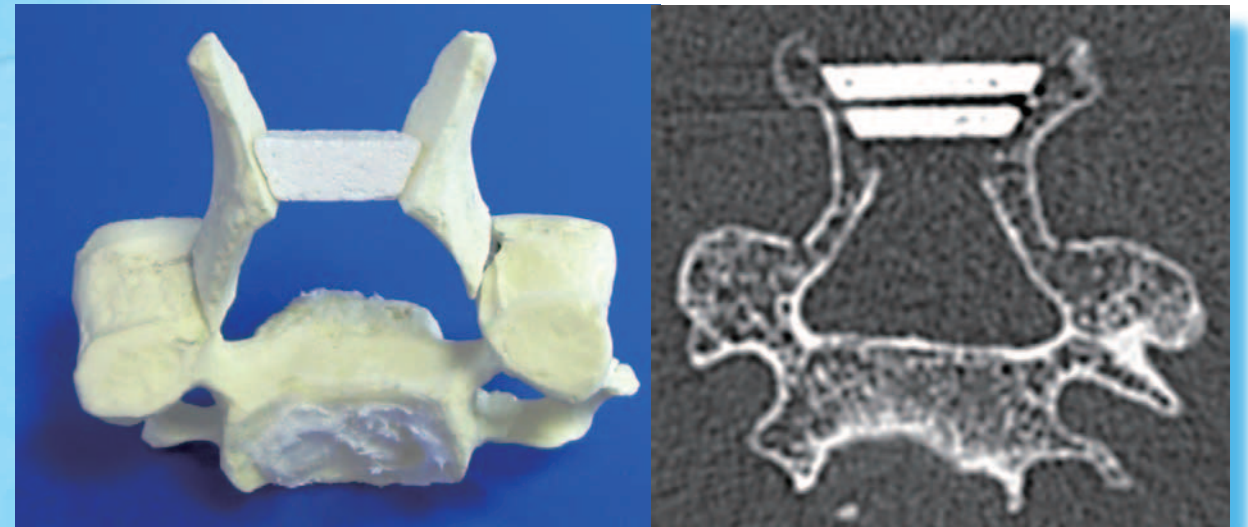
AP101202 2013 年 10 月作成

PENTAX

APACERAM®

## アパセラムSTSSスペーサー

監修：帝京大学医学部 整形外科教授 平林 茂 先生

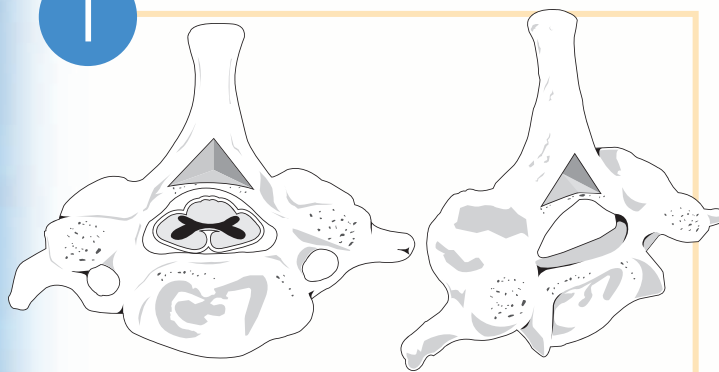


## STSSスペーサーの特徴

- 1 水平断、前額断ともに台形の形状である。
- 2 二分された棘突起・椎弓に密着し、三次元的に安定した位置で固定される。
- 3 棘突起・椎弓との接触面が菱形のため広い。  
(ボンディングしやすい)
- 4 矢状断では各椎弓に平行に固定される。

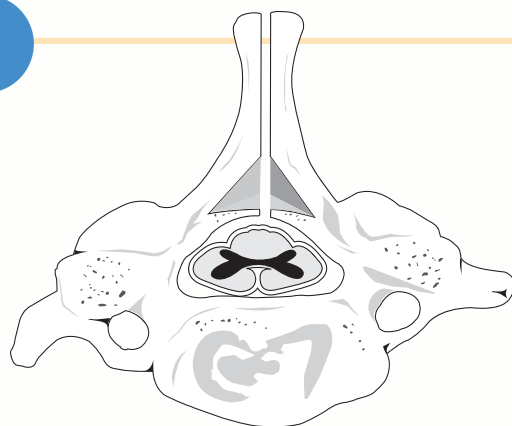
## STSSスパーサー使用手順

1



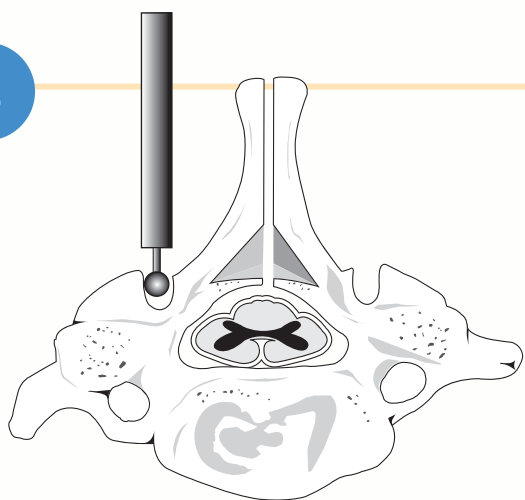
径3mmのダイヤモンドバーを用いて、椎弓の頭側正中を三角形状に掘削する。

2



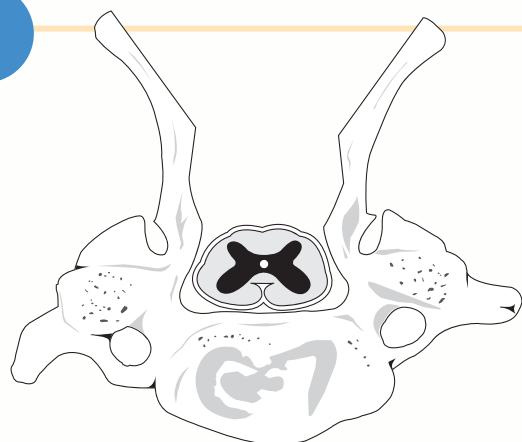
径2mmのダイヤモンドバーを用いて、三角形の内壁腹側からと棘突起・椎弓の表面背側からそれぞれ正中縦割を行い、両者の切断面を繋げる。

3



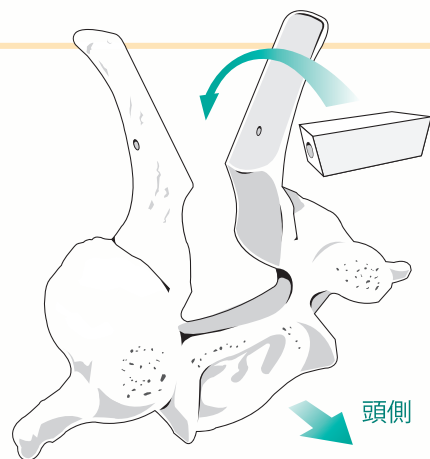
径3mmのダイヤモンドバーを用いて椎弓と椎間関節の境界部で、外板と一部の海綿骨を掘削し、左右の側溝を作製する。

4



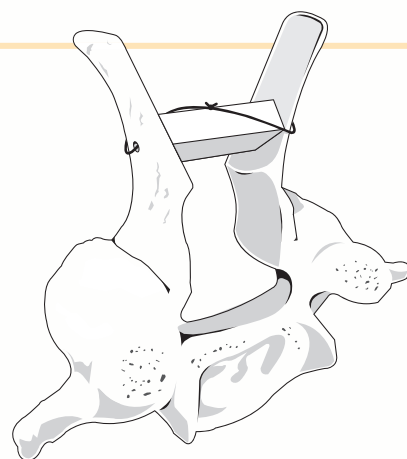
メツェンバウムや頸椎スプレッターで順に棘突起を左右に開き、左右の抵抗力が均等になるように側溝を整える。

5



椎弓内板から約8mm後方にダイヤモンドドリルで穴を穿つ。それぞれの棘突起では、尾側より頭側が広く開くため、スパーサー最長辺を頭側に向け設置する。

6



スパーサーを軽く回転させ、最も安定する位置に非吸収系を用いて棘突起に締結固定する。スパーサーは椎弓の傾斜とほぼ平行に固定される。

## スパーサー設置高位と脊柱管拡大率について

棘突起縦割法での脊柱管拡大率は、スパーサーの設置高位とスパーサーの横径とにより変化する。

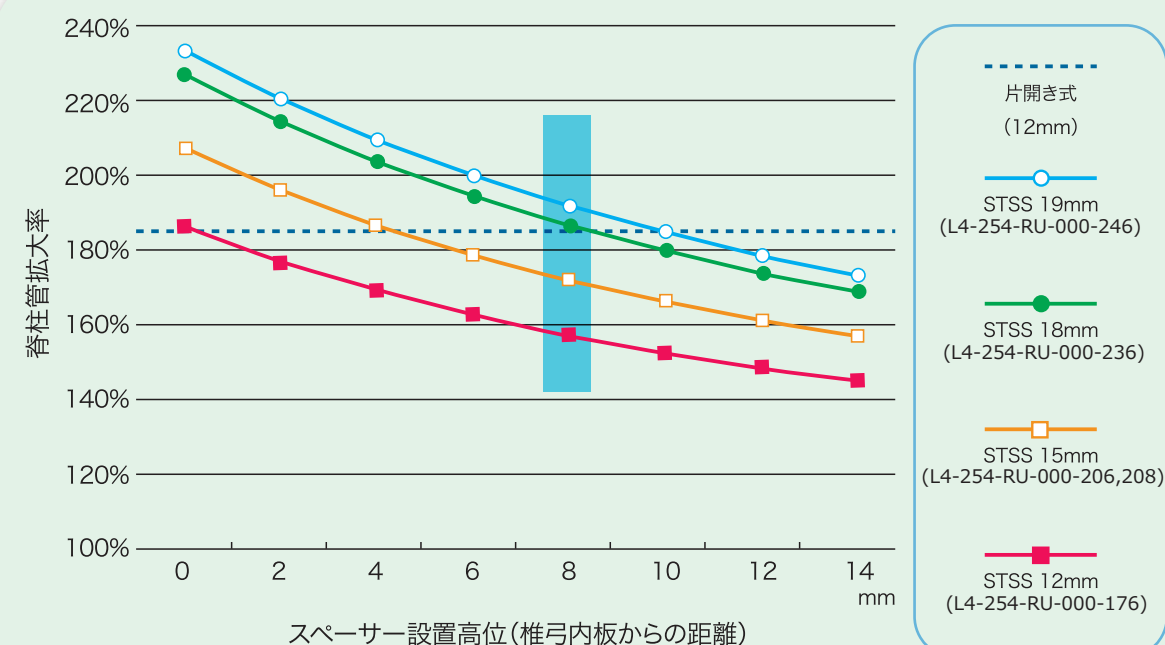


Fig1

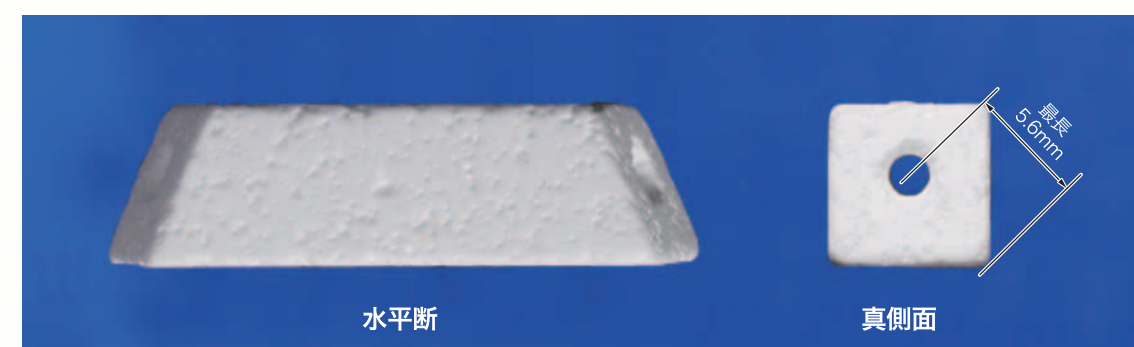


Fig2

STSSスパーサーで頻用される横径18mmタイプ(L4-254-RU-000-236)では、椎弓内板から8mm後方に設置した際の脊柱管拡大率は185%となった。これは片開き式椎弓形成術で頻用される12mmのスパーサーと同等の拡大率であった。(Fig1)

また、スパーサーの中央から四辺の隅まで最長5.6mm (Fig2) であるため、スパーサーを回転させても硬膜との間に十分な余裕がある。